

令和8年度 64回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 〔コミュニケーション〕	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2026 年 4 月 17 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 *看護技術とは：2 時間 *コミュニケーション：14 時間 *感染看護：10 時間 *事故防止：4 時間
担当講師名	加美 恵里佳	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	コミュニケーションの基本を学び、看護実践の場におけるコミュニケーションの方法を学ぶ		
到達目標	1. コミュニケーション能力を身につけるために、自分自身の思いを言語や行動で表現することの意義を理解する 2. 患者と看護師間の意思の疎通と信頼関係を成立させるためのコミュニケーション技術がわかる 3. 演習をとおして、自分自身のコミュニケーションに関する課題を認識する		
事前学習内容	教科書の該当部分を読み、学習内容を把握しておくこと。		
成績評価の方法	本科目は3単元の合計点（100点満点）が科目の成績となる 〔コミュニケーション：50点／感染看護：40点／事故防止：10点〕 ※本科目の3単元の合計点が60点未満の場合は、3単元全てが再試験となる		
使用教科書	・系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 第19版【電子版】2026年 version4 医学書院 ・看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第2版 メディックメディア		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	コミュニケーションの意義と目的 (1) コミュニケーションの意味・特徴 (2) 看護・医療におけるコミュニケーションの特徴・重要性		講義
第2回	コミュニケーションの構成要素と成立過程 (1) 5つの構成要素：刺激、送り手、メッセージ、伝達経路、受け手 (2) ミスコミュニケーション (3) プロセスレコード		講義
第3回	コミュニケーション演習 (1) 挨拶 (2) 状況に応じたコミュニケーション (3) 感情に対応するコミュニケーション		演習
第4回	関係構築のためのコミュニケーションの基本 (1) 接近的コミュニケーションの原理 (2) 基本的態度：寄り添う態度、わかってもらう態度 ほか		講義/演習
第5回	効果的なコミュニケーションの実際（1） 傾聴の技術：共感的理解、非言語的メッセージ、聴き方		講義/演習
第6回	効果的なコミュニケーションの実際（2） (1) 情報収集の技術：オープンクエスション、クローズドクエスション、説明技術 (2) アサーティブ行動		講義/演習
第7回	コミュニケーション障害がある人への対応 （失語症・構音障害のある人、認知症、意識障害のある人）		講義
履修上の留意点	1. 演習でグループワークを指示された場合は、相手の考えを尊重しながら建設的な意見を出すよう努める。 2. 普段の生活から人に関心をもち、相手のことを知る・わかる、自分のことを知って・わかってもらおうとする気持ちをもつことを意識する		